

紙 罪 案 起

大正五年九月廿九日起案

十月十日發付

發付後起

案首捺印

發付後起

案首捺印

大臣



次官



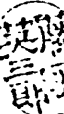
參事官

總政局長

副官



第一課長



第五課長



第二課長



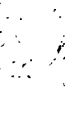
第三課長



第四部



第三部



副官



第二課長



第一課長



局長



大正五年九月十一日  
 橫敵第四号一九九軍艦音羽無線電信柵  
 長及信号柵位置變更一件認許

官房第二六五號

別向系系(原)

後

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	艦政	司法	經理	醫務	人事	軍務	官房	局部
												十月十日	受月日發月日

0445

5.10. 技三

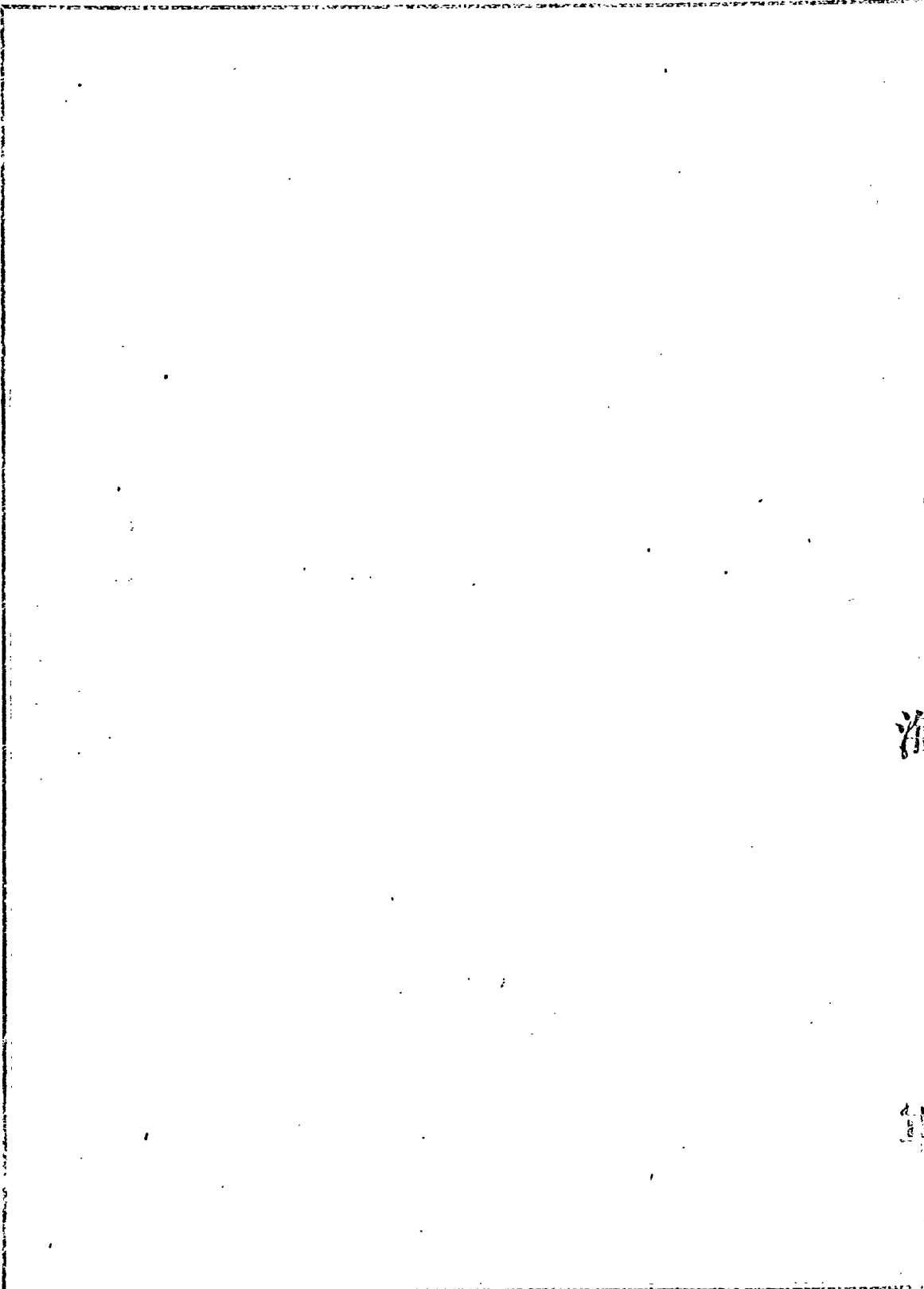
5.10.19 技三

5.9.30 政艦

5.9.29 受技

9.29 艦二

9.29 艦政五



海

山

0446

**アジア歴史資料センター**

**Japan Center for Asian Historical Records**

<http://www.jacar.go.jp/>

三二二

艦政局

經理局

第三課

技術本部

横廠第

參謀長

參謀

參謀

參謀

參謀

大正五年八月二十八日

大正五年八月二十八日

大正五年八月二十八日

大正五年八月二十八日

大正五年八月二十八日

大正五年八月二十八日

大正五年八月二十八日

大正五年八月二十八日

大正五年八月二十八日

大正五年八月二十八日

大正五年八月二十八日

大正五年八月二十八日

大正五年八月二十八日

大正五年八月二十八日

大正五年八月二十八日

大正五年八月二十八日

横須賀海軍工廠長江口

軍大臣加藤友三郎殿

無線電信桁延長及信桁

置変更ノ件

本件全艦長ノ請求ニ對シテ諸查セルニ工事至當ト認ル

御認許相成度別紙ニ請方案書添

右上申入

貴概算書

陸通

圖面正副

陸通

第四部

重量増減表

陸通

第三部

請求書

陸通

官房第二六五六號

5.9.25 技三接受

横須賀海軍工廠

0448 9.47 0447

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

大正五年八月二十八日

技術本部長

中村三郎

三十二

艦政局

經理局

第三部長

技術本部

横廠第

大正

參謀長

參謀

5.9.25 技三接受

大正五年八月二十八日

軍大臣 加藤友三郎殿

横須賀海軍工廠長 江口 鱒

電信桁延長及信桁

設置変更ノ件

本件全艦長ノ請求ニ對シ諸查セルニ工事至當ニ思

御認許相成度別紙

右上申ス

第四部 第五部 第六部 第七部 第八部 第九部 第十部 第十一部 第十二部 第十三部 第十四部 第十五部 第十六部 第十七部 第十八部 第十九部 第二十部 第二十一部 第二十二部 第二十三部 第二十四部 第二十五部 第二十六部 第二十七部 第二八部 第二十九部 第三十部 第三十一部 第三十二部 第三十三部 第三十四部 第三十五部 第三十六部 第三十七部 第三八部 第三十九部 第四十部 第四十一部 第四十二部 第四十三部 第四十四部 第四十五部 第四十六部 第四十七部 第四八部 第四十九部 第五十部 第五十一部 第五十二部 第五十三部 第五十四部 第五十五部 第五十六部 第五十七部 第五八部 第五十九部 第六十部 第六十一部 第六十二部 第六十三部 第六十四部 第六十五部 第六十六部 第六十七部 第六八部 第六十九部 第七十部 第七十一部 第七十二部 第七十三部 第七十四部 第七十五部 第七十六部 第七十七部 第七八部 第七十九部 第八十部 第八十一部 第八十二部 第八十三部 第八十四部 第八十五部 第八十六部 第八十七部 第八八部 第八十九部 第九十部 第九十一部 第九十二部 第九十三部 第九十四部 第九十五部 第九十六部 第九十七部 第九八部 第九十九部 第一百部

第三部 重量増

副官 請求書

官房第二六五六號

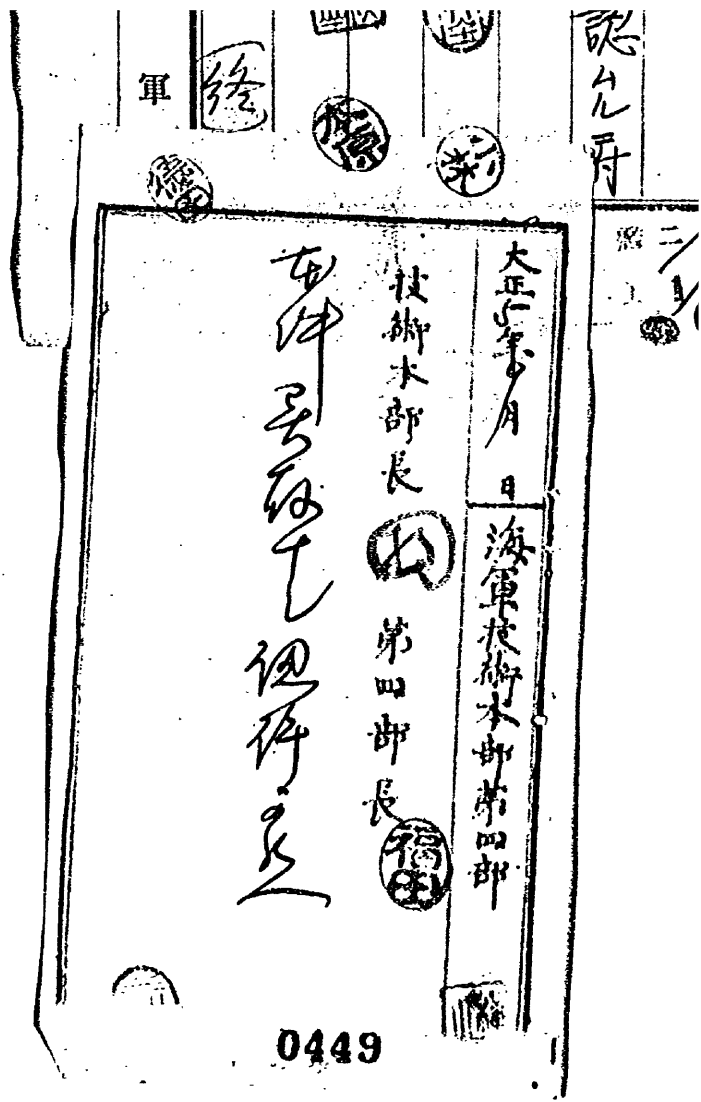
0448

0448 9.47 390447

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/



0449

軍艦音羽無線電信新延長及信線新位置  
変更工事方案並入費概算書

一 工事方案

一 別箇(雜第四號四一號)ニ示ス如ク現在ノ前後無線  
線電信新長拾五呎ノモトヲ撤去シ長拾九呎ノモ  
ト改造シ其取附位置及現在ノ信線新位置  
置ヲ変更スル事

ニ工事費概算、工事日數及重量増減

區分	工費	材料費	附帯費	計	工事日數	重量増減
造船	四〇〇〇〇	五〇〇〇〇	一四〇〇〇	一〇四〇〇	一〇日間	重量増減

終

海軍

0450



音羽第四號ノ四六

(校書)

大正五年五月五日於横須賀

音羽艦長大石正吉

横須賀海軍工廠長江口麟六殿

船体修理ノ件

一無線電信桁延長

壹個

理由空中線四條改装ヲ要スルニ体自然延長

ヲ要ス

右請求ス

(終)

海軍

0451

七二 船改

起案郵紙

大正五年十一月六日 起案者 捺印 十一月九日 發付 捺印 發付掛 案者捺印

大臣 濟

次官 龍

副官 參事官

第二課長

第五課長

山縣

山縣

山縣

山縣

第一課長

第四部

副官

局員

山縣

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	艦政	司法	經理	醫務	人事	軍務	官房	局部
								369, 2			11/9	11/9	受月日 發月日

大正五年十一月九日 海軍大臣

吳工第四号白七六二軍艦千歳 ワイヤストッパー 改

造一併認許ス

別圖之系(添)

官房第三八三號

11.10 9.22 46

0452 369, 2 11. 6



線原納

海  
軍

0453

七二

艦政局

技術本部



第二課

大正五年九月十八日

九月九日進達

海軍大臣加藤友三郎殿

軍艦千歳ノイヤストツパー改造ノ件

本件千歳第四號ハ請求ニ依リ現場調査候所ニ  
要上認ラレ候ニ付別紙箇及方案書ノ通り改造  
方計画致候条御認許相成度  
右申上ス

第四部

第四部  
副官

官房第二八三六號

重量増減豫定表一

係付

海軍

参謀長

参謀 福興

副官



艦政五 9 21

0454

大正五年  
九月十八日  
加藤友三郎  
海軍大臣

件  
査候  
通  
改  
造



九月廿一日  
官務受



0454

369 9.21

七三

大正五年。月廿

海軍技術本部第四部

別代吳工廠に程借  
中本件は深さの孔に  
了  
ト  
ニ  
休

0455

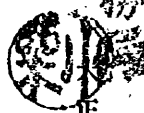



軍

軍


紙箋附

七

21


 正五年九月  
 課長  
 局員  


  
 海軍省軍務局

現在品ニシテ不便ナラモ密用ニ差支ナレハ  
 改造ニ及ハサルモ若シ密用ニ差支アルナラハ  
 改造ノ必要アルヘシ不具合ノ程度ヲ取調上  
 長官ニ報告ノト認ム


 第四部 調査室

0456

21

本件ハ豫算節約ノ為メ納  
對必要ノモノニテサシハ見合  
子ニ致シ申意見如何

技術本部  
七三

艦政局

大正五年九月  
海軍技術本部第四部  
艦政局ノ事務面ノ見合  
ヤ、此等ハ已テ見合  
為ル

三  
一  
年  
九  
月  
九  
日

0457

七十三

請求書寫

海軍

0458

海軍

軍艦千歳ワイヤーストウパー改造工種方安案(造新)	別着、如、現在、固定、ワイヤーストウパーハ不具、	付移、動、在、上、改造、造、不	入費概算	工費	材料費	附属費	今新	工事日数	重量増減
				金百〇八部	金五拾五部	金九拾九部	金百九拾部	拾日	別表ノ通り

了

0459

千歳印四七〇八	大正五年四月分	千歳路長	二 弱 長 弱	千歳路物型及引換請求ノ件 (振替)	千歳路名額数量	七五 移動費一 何 二 内吉田の四半一モ一他吉田の二半一モ一特約金付ヲ要ス	前記年帳作方成否	右請求?
---------	---------	------	---------	-------------------	---------	---------------------------------------	----------	------

海軍

0460



技術本部長

七ノ六



皇正第四號 四七六五

第四號 正五年十月廿日

副官 皇海軍工廠長伊藤乙次郎

海軍技術本部長枡内曾次郎殿

軍艦千歳移動鋼索固締器改造ノ件

技本第四九二號御照會ノ件了テ右ノ本年四月十  
 歳第四號ノ修理引換諸書ニ因リ精査セシメ候  
 處今艦現在ノフリッド式移動鋼索固締器ハ何レ  
 モ其ノ重要部著シク摩滅セシメテ從來屢々修理ヲ加  
 ヘタルニ近頃愈々不具合トナリ白晝ニ艦員ノ手ニテ器  
 締着カク増ヤカタン其固定部ト滑動部トノ間ニ

上申書... 海軍工廠



0461

厚サ少シ時、鉄板ヲ挿入セシ甲申文モナリ依然トレテ鋼索  
滑走ヲ免カレザルヲ發見致候

右自然毀損ノ爲メ使用ニ堪ハサルモノヲ若シ新  
造ニ様大修理ヲスカ或ハ移動式ニ改装ヲ要スニ  
状態ニ有之應右兩様ノ事ニ對シテ入費重量及  
兩者ノ便否ト比較商量ノ結果何レニ移式  
有利ナルヲ認メ候ノ事ナリ現在ノ固定器ハ實際使  
用不可能ナル現状ニ付此際改造及上申次第ニ有  
之候

右同左

〇〇

0462



七七號

發送 技術 第一 號  
技術第二九二號

同航千歳のワイヤーストックの改良ノ件  
本件は先方共商の長を以て推察し本所より改良ノ理由  
十分明瞭に示されしを以て現に固定ワイヤーストックノ改良  
用上不便な点詳細調査中である  
右記ノ如し

吳之康 長宛

本部長

年 月 日

副官



部長

部員

本部長



部長



部員

起案  
月 日

20

月

3

日

起案

各

軍

添付  
圖書

0463

10.4

9.22  
26

船政

起案罪紙

大正五年九月廿六日起案

九月廿九日發付

發付後起案者捺印

大次官  
參事官  
副官  
艦政局長

第二課長 伊藤 牛島  
第三課長 伊藤  
第四部 伊藤  
第五部 伊藤  
副官 伊藤  
技術本部長 伊藤  
監理局長 伊藤

大正五年九月二十九日 海軍大臣

橫領司令長友平

旧水雷艇小鷹三回元件

本年四月廿八日官房第一一二号ノ以下ノ廢船處分方

官房第二九二五號

局部	官房	軍務	人事	醫務	經理	司法	總政	技術	造兵	教育	臨建	水路	軍令
九月廿九日發付	官房受	5月13日	醫務局受	經理	司法	總政	技術	造兵	教育	臨建	水路	軍令	

5.9.20 受接  
368  
政艦  
5.9.20 受接  
9.18  
9.20

0464

9.21 受接

5.9.19 受接

認許したる旧水雷艇小鷹ノ船體ヲ水雷標的船ニ改  
造工事施行せしむ

但し工方案、海軍技術本部長ヲシテ其ノ有  
工廠長ニ通知せしむ

右訓令云々

(終)

藤原 納

0465

船政

供覽

第...

十月五日

軍務局

艦政局

技術本部

第四部 第二部 第五部 副官

舞鶴海軍工廠長上村翁

大正五年十月十八日

海軍大臣加藤友三郎殿

九月三日... 右報... 大正六年三月末日竣工豫定

水雷...

第六部...

機關長

五技 11.10

5.11.10

5.10.30

政艦 6.10.24

10.23

10.20

5.10.27

0466

紙 郵 案 起

船政

大正五年九月廿二日

日起案 起案者 捺印

九月廿二日發付 發付掛 捺印

案者捺印

發付後起

5.9.21

5.9.21 技接

技術 5.9.28 一郵

5.9.5 技接

5.9.9 技接

政艦 5.9.14 技接

5.9.9 局政

5.9.9 局政

5.9.9 局政

(主務)

艦政局長 (田)

第三課長

牛

5.9.14 技接

5.9.9 局政

5.9.9 局政

大

次官

參事官

副官

第一課長

牛

5.9.14 技接

5.9.9 局政

5.9.9 局政

軍務局長 (利)

第五課長

牛

5.9.14 技接

5.9.9 局政

5.9.9 局政

技術部長 (利)

第四課長

牛

5.9.14 技接

5.9.9 局政

5.9.9 局政

經理局長 (勝)

第三課長

牛

5.9.14 技接

5.9.9 局政

5.9.9 局政

副官

第二課長

牛

5.9.14 技接

5.9.9 局政

5.9.9 局政

第三課長

牛

5.9.14 技接

5.9.9 局政

5.9.9 局政

大正五年九月二十二日

海軍大臣

舞 鎮司令官

軍艦阿蘇改修

軍艦可蘇ヲ水雷敷設機改修方其ヲ工廠シテ

號番

官房第二八六

9.25 技四

0467 0.12

工事施行せしむるに費の豫算金指當り八千七百七十四

本年度軍事費の造如造島及修理費の支弁とし別途配

付る

但し工事方案に付るに海軍技術本部長ヲシテ工部局長ヲ用

知せしむ

所要兵器に付るに海軍省長ヲシテ

右訓令云々

終

格部美八千七百七十四

0468

捺原納



機密通

艦政部長



庶務造兵造船造機需品會計

起案 九月十日

起案者



第二課長  
第三課長  
第一課長  
第五課長

無罪之隊長宛

艦政部長



軍艦所長對改告警の防範並に國之御  
軍艦所長對改告警の防範並に國之御  
号の防範並に國之御  
以上は防範並に國之御  
長官の御一覽圖内幸甚  
保あまねる御改告

(流)

發送日 大正五年

5.9.25  
母發送

艦政船第 七 號

添付

者

0469

飛攻

三陸隊入費概算調

海軍

① 約一百万増額

二連隊四十両連兵六千  
円見当一たんも遊艇

四十内ト兵七艘修統  
十に依リ増額せし

テ割合九一トシ工  
事全体ノ内ヨリ修

約五半ニ様照写  
プリントス

榴霰敷設船之改造 総七条

九四五三六.六〇〇

八吋砲六吋砲ニ換装 総七条

三三〇二三.〇〇〇

② 技女修工ニ依リ増額約

一〇五〇二.五〇〇

③ 砲火指揮通信装置約

五八〇〇〇

合計

一三八五八〇.六六〇

say 一三八五八〇.〇〇〇

④ 本額 技女原案ニ対スル總算ト総七条老案ニ対スル總算ノ差

トシリ實際ノ高下

⑤ 本額 大差十中現ノ并修費

宮井 納

0470

艦政局

第...第...第...  
第...第...第...  
第...第...第...

技術機密第三〇〇號

大正五年八月二十八日

枋内海軍技術本部長

中野海軍機務局長

甲艦隊司令部

友房様 密而不泄之旨 決裁之旨 仰体  
之旨 仰体 之旨 仰体 仰体 仰体  
左 仰体

(海軍技術本部第四部 係管)

右記圖書 (海軍技術本部第四部 係管)  
三年之機密也 (係管)

艦政密第一〇八號

海軍

政艦  
5.8.29  
受接

二九  
8.29 0471

政局

第二課

第一課

三三三

第四部

以上各課主任  
以下各課主任  
以下各課主任  
以下各課主任

第三三三號

大正五年六月十七日

上村舞鶴海軍工廠長

中野海軍省監政局長殿

印

海軍、陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿

陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿

陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿

陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿  
陸軍省監政局長殿

第三三三號

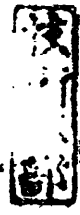
5.6.22

技術  
5.6.23

5.6.19

0472 0.20 5.6.24

5.6.20



機密  
庶務造兵造船造機雷品會計  
案起六月十日  
起案者 艦政局長

艦政局長 (印)

第一課  
第二課  
第五課  
艦政局長宛

軍艦阿蘇ヲ甲種機雷改修ニ對シテ  
改修方策ニ關シテ  
艦政局長宛

第四部

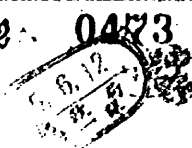
副官

軍艦阿蘇ヲ甲種機雷改修ニ對シテ  
改修方策ニ關シテ  
艦政局長宛  
去るにハ其費用何程ヲ要スルヤ参考ナルニ  
見續リ申上ルニ付  
左ノ如ク

發日 大正 五年 六月  
政機 5.6.13  
發送 密船 第三 號  
添付 圖書  
淨書 者 (印)



6.12



6.14



起案部紙

大正五年十月廿七日起案

十月廿七日發付

受付後起  
案者捺印

本渡 6.10.27 受接

政艦 5.10.21 受接

372, 2  
4 艦二  
10.20

大臣 濟

次官 齋

參事官

副官 齋

第五課長

艦政局長

第二課長

局長

軍務局長

第一課長

局員

技師長

第四部

副官

小林

經理局長

勝

第三課長

局長

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技木	司政	經理	醫務	人事	軍務	官房	局部
										十月廿七	十月廿七	十月廿七

大正五年十月二十七日  
海軍大臣  
第一工第二号ノ五五軍艦香取兵員烹炊室内改造ノ  
件認許ス

別同系案原

終

官房第二八九ノ第一

10.28 2128 22

0474 野

艦政五  
10.20

杉原 納

0475

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

四三

司令官

参謀長

經理部

参謀  
副官

第三四號

5.9.27

3/2  
政艦  
5.9.27  
受接

097

舞工第二

號

第二課長

九月二十五日

大正  
五年  
九月十九日

舞鶴海軍工廠長上村翁輔

大臣加藤友三郎殿

技術本部

第四部

副官

艦政局

軍艦香取兵員烹炊室内改造方、件、  
關之香取艦長ヨリ請求有之調査候  
必要ト認ムルニ付別紙方案等、通  
候條御認許相成度  
上申ス

(別紙請求書及調書各一附圖二重量増減表一添)

(終)

官房第二八九八號

0476

9.27

大正五年

技術本部

香取兵

本件



通候  
印



0476

9.27

大正五年十月九日  
海軍技術本部第四部  
技師本部長福田 第四部長福田  
香取兵衛直太郎宛書状  
本件書状存付認件上認

0477

寫

香取第四號ノ一三一

大正五年八月三十日

吉田艦長

機裝品改造ノ件

(渠中ノ事)

一兵員烹炊室

右兵員烹炊室改造ハ昨年來再三詳細ナル理由ヲ具  
 シテ請求セシモ五年二月舞ニ檢第一五號御通知ニ  
 リ見合セトナリ今年四月其ノ任就役セシモ爾來非  
 常ノ不便ト勞力若ク忍ヒツ、辛クシテ烹炊ノ業ヲ  
 強行スルノ狀況ニ在リテ到底現「ライスボイラー」取換  
 ノ時機マテ猶豫致兼候余本年十月帰港機

0478

會ヲ利用シ左記ノ通り是非共改造方御取計相成  
度

右請求ス

追テ軍艦鹿島烹炊室ヲ参考シテ改造セラルナラ  
ハ至テ好都合ニ有之候

左記

一鐵製西洋竈ヲ取除キ代フルニ鈴木式煮釜ヲ裝備スルコト

理由

現在ノ西洋竈ハ占積ニ坪計ノ甚大ナル鐵製モノナル  
モ其ノ効用ハ少量ノ燃料ヲ徒消シテ僅カニ湯沸ノ  
用ニ充ツルニ過キス文レヲ除キ鈴木式煮釜参考ニ改

0479

裝ストキハ重量約三噸ヲ輕減シ燃料毎月六拾餘圓  
ヲ節約シ加之餘積ノ利用甚ク室内ノ整頓清  
潔ハ勿論勞力ヲ省クコト至大ナリ

一蒸氣湯沸釜設備

理由

蒸氣湯沸釜ノ換裝ノ結果必要ナリ

一蒸焼釜裝置

理由

蒸焼釜ハ調理ノ種類ヲ増加シ兵員ノ嗜好ヲ満足セシメ  
一配食器棚ヲ兩舷内側通路ヨリ烹炊室内ニ移設スルコト

理由

0480

配食器棚、移設ハ通路ノ防碍ヲ去リ且ツ配食ノ便  
ト變味ノ虞ナキヲ為ナリ

(終)

0481

軍艦香取兵員炊室改造理由工事方案

入費概算工事日子等調書

一理由

大正五年八月三十日付本艦々長ノ請求ニ依ル

一方案

從來ノ「ライスボイラー」參個並西洋竈ヲ全部ヲ取り除キ番面ニ示ス如ク室ノ中央ニ鈴木式「ライスボイラー」(四斗焚)參個及右舷前方ノ圍壁ニ添ヒ蒸汽装置<sup>湯</sup>置<sup>湯</sup>沸<sup>湯</sup>缶約四分ノ參噸入ノモノ一個並右部左舷ニ寄セ蒸焼釜及煮物釜各壹個<sup>(新設)</sup>ヲ新設ス(但シ蒸焼釜ハ麵麩及燒物等用ニ煮物釜ハ蒸汽無キ場合或ハ蒸汽管等ニ故障ノアリタル場合ニ使用ス)又現在ノ竈用石炭庫ハ其容積大ナルニヨリ新設ノ蒸焼釜及煮物釜ニ適當スル様番面ニ示ス如ク改造ス又在來ノ配食器

0482

棚ハ烹炊室竈狹隘ナル為メ、今室外左右兩舷ノ通路ニ配  
置シアリ甚ダ不便ニ付此際其全部ヲ撤去シ配食器棚更  
ニ烹炊室内ニ之レヲ裝置ス其外室内ノ新設改造ハ別紙  
番面ノ通リトス

入費概算金貳千八百八圓四拾錢

(既配付豫算ニテ支弁)

内訳

材料費 壹千六百圓

工費 七百八拾圓

附屬費 四百貳拾八圓四拾錢

工事日子 參拾日間

重量増減 三噸七〇減 (英噸)

(終)

0483

大正五年九月

九日

日起案

月

日發付

日發付

大 正

次官 齋藤

參事官

副官 大角

艦政局長 中野

第二課長

第三課長

第四課長

第五課長

軍務局長

第一課長

第二課長

第三課長

第四課長

第五課長

技術局長

第一課長

第二課長

第三課長

第四課長

第五課長

經理局長

第一課長

第二課長

第三課長

第四課長

第五課長

第二課長

大野

軍令

水路

臨建

教育

造兵

技本

艦政

司法

經理

醫務

人事

軍務

官房

局部

受月

日發

付掛

政艦 5.9.14

5.9.9

5.9.9

5.9.9

政艦 5.9.9

0484

大正五年九月二十日

海軍大臣

吳鎮司司令官

軍艦船橋改造

軍艦船橋三隻、母艦改造方其

官房第九五八號

9.15

吉園

吉園

吉園

吉園



工廠等之別業其業本國由之依りて之施行  
 也之りて之入際餘算金以之由之百の院之由之在年交軍  
 事製造船造兵及修理費之支給之別途配付ス  
 右訓令云々

(別業中事申回由之持統) (統)

電氣関係用面四枚  
 技行本部第三部作修 禁圖第 二九二五番  
 二九二八

原原約

0485

十二

技本第三八〇五號

大正五年九月七日

枋内海軍技術本部長

中野海軍省艦政局長殿

軍艦駒橋改造ニ関スル件

第二課 軍艦駒橋ノ八号艦潜水艇多隻ノ由

第三課 艦下改造ニ事別紙方案ニ依リ施行

第一課 方印取計 五成云

第四課 右照入云々

別紙方案一通 圖面及書一紙 (正号) 係

艦政第三九一號

(安田 均)

9.6.9  
海

0486

一	工事方案	造船部 造船部	一
一	解装図		二
一	白熱電燈 防暴用電佛送込機配置図		二
一	同	電路系統図	二
一	呼鐘電路図		二
一	同	系統図	二
一	座心査定試験成績書		一
一	座量増減表		一

各一室  
並行  
並行  
並行

(表田植)

海軍

0487

助橋潜水艇三隻母艦ニ對スル改造(水雷關スル工事)

水雷部

一、工事方針

(1) 十八吋魚形水雷四個ノ格納架台及ハンキングレールヲ設ク

(2) 魚形水雷調整室ニテハ装氣柱ヨリ各カソリシタムクハ空氣銅管

ヲ敷設シ途中ニ塞止弁四個及圧力計志何ヲ設クモトス

二、入費概算

金八百四拾五圓貳拾錢

収款

工費 金叁百拾五圓

材料費 金叁百八拾六圓

0488

附屬費金等當分の式拾銭

三、工事日数 参月半

四、重量増減 約七噸半増加

(3)

0489 .

軍艦約橋潜水艦母艦ニ對スル改造工事方概

造船部

一 救難用二十噸唧筒

母艦トシテ必要ナルモノ以テ陸上ニ

二 瓦素林タンク

別圖ノ如ク改造シ容量四万リットルトス  
但シ供給装置カハ別圖ノ如クナリ  
瓦素林タンクニ在リテ

三 潜水艦繫留用フム

別ニ増設改造ス

四 魚雷格納所

清水並及水雷科要具庫ヲ移動シ其跡ニ魚雷四本ヲ格納シ得ル

架台ヲ設ク

水雷科要具庫、元艇清水並及右舷カノリレタリテ其側ニ移動ス

並ニ設備ヲシテ各種食料ノ別圖ノ如ク擴大ス

五 瓦素林タンク室及通風装置

0490

現在、木製障壁を取却し厚さ10の鋼板障壁を作り幅を高く  
五呎寸の氣密扉を附し通風をなし元素杯を改造して通風を改造  
六端舟甲板延長

端舟甲板を別箇の如く後部迄延長し右部、秋秋を變更  
舷側板 厚さ10の鋼板を用フ

ロフレーム  $16 \times 16 \times 16$  山形鋼を用ひ  $16 \times 16 \times 16$  ブラケットを以て  
板及端舟甲板をハビームに接続ス

ハビーム  $10 \times 10$  球形山形鋼を用フ  
ニ甲板 兩舷サイドストリレカール幅四呎六寸厚さ15トシ中央

ストレーキハ幅四呎六寸厚さ10の鋼板を右部迄延長  
尚幅三呎厚さ10の鋼板を三ヶ所ニ張りテサイドストリレカール

0491

ト中央ストレーテラ橋鏡ス

ホ木甲板

幅六呎厚一呎ノ板ヲ使用シ新設甲板全部

張ルモトス

七、後部上甲板ノ移動物

イ、~~元~~艦装物ヲ新設甲板上ニ移動ス

艦橋 全上用タビト ポラトト ワイヤー及ボサリール

ポールマスト及ステー、オニエリ及カニエリグスタレシヨレ全電機

電機作具(橋本) ワイヤーストラパー

ロ、空氣抜及空氣入ノ之ヲ新設甲板迄延長ス

ハ、艦尾旗竿及速力信号燈 別國ノ如ク移動ス

九、諸室 別國ノ如ク中央部及右部上甲板上ニ准士官以上三千五

0492



二對公室及寢室在官倉食器室病室治療室酒保兵員  
廁ヲ新設或ハ改造シ適當ノ設備ヲ施ス主計官事務室ハ治療  
室跡ヲ改造ス

無線電信室ハ新設中破ムヲ設テ其跡ヲ艦長公室トシ舷側ニ  
移セル公室寢室ハ治療室ヲハ外張ヲ施ス

### 十 兵員室増設

右部ニ中破積室ノ中間ヲ兵員室トシ兵員二十一人對公食卓  
櫛櫛衣囊及釣床格納所手箱棚食器棚帽子及合羽棚等  
必要ナル設備ヲ施シ釣床ハ二十六人分ヲ新設ス

### 一一 諸倉庫

別回ノ位置ニ船隊倉庫糧食庫網具庫及雜倉庫ヲ新設ス

0493

一三 新設甲板上新設物

新設甲板上新設ス可キモノ左ノ如シ

昇降口、天窓、空氣抜明取、ハンドレール及公ドレールス等ヲ新設ス

及カーニブスタレシヨレ入口、フエアレキスター

一四 潜水艇曳航用ワイヤル

現裝備ノ弦ワイヤリルニ、位ワイヤリル一ラ、位ワイヤリルニニ改ム

一五 船底バラスト

銷、庫兵負糧食庫三吋砲彈兼庫ノ船底ニハ、スクリュー道

ハ、ラネトク塔載ス

一六 石炭落口

別當ノ如ク改造シ貯積ノ倉庫トス

0494

正入費概算

材料費 金壹萬五千四百四拾四圓

工費 金六千壹百圓

附屬費 金參千九百九拾四圓

合計 金貳萬九千九百九拾四圓

丁未年三月日教 四月間(但)材料到着(注)

丁未年重増減 別表通(リ)

0495

駒橋潜水艇三隻母艦ニ對スル改造

造機部

一、工事方針

二千噸級難卸筒機械ニ至ル蒸気管、排汽管及弁ヲ取  
外シ盲目蓋ヲ取付ク

二、入費概算

工賃金拾四

材料費金四四

計金拾四四(附屬費ヲ含ム)

三、工事日数 五日間

四、重量増減 百七拾斤減

海軍

0496



南洋各地商務的發展  
實業界之重要事業

(水電部之重要)

一、電氣事業

新設或改良電氣事業為南洋各島國南島之重要  
燈塔鐵路及各項電氣事業之配電其電  
燈之普及又電氣通信局之普及其事業之  
普及實為南洋各島國南島之重要  
但左列各項電氣事業之配電其事業之  
普及實為南洋各島國南島之重要  
九個  
燭台燈(按燈)

0498

手提燈 (藤野道)  
隔壁燈 (延面)  
巨制藤野道卷 (丸形)  
合電氣巻 (下電路)  
電氣接新巻 (水防)  
電氣接新巻 (水防)  
接新巻 (水防)  
合  
防着合電氣巻 (藤野道) (正呼年上同)  
電氣巻 (水防)  
田室甲  
産 伯  
産 伯  
産 伯  
産 伯  
産 伯  
産 伯  
産 伯  
産 伯  
産 伯  
産 伯

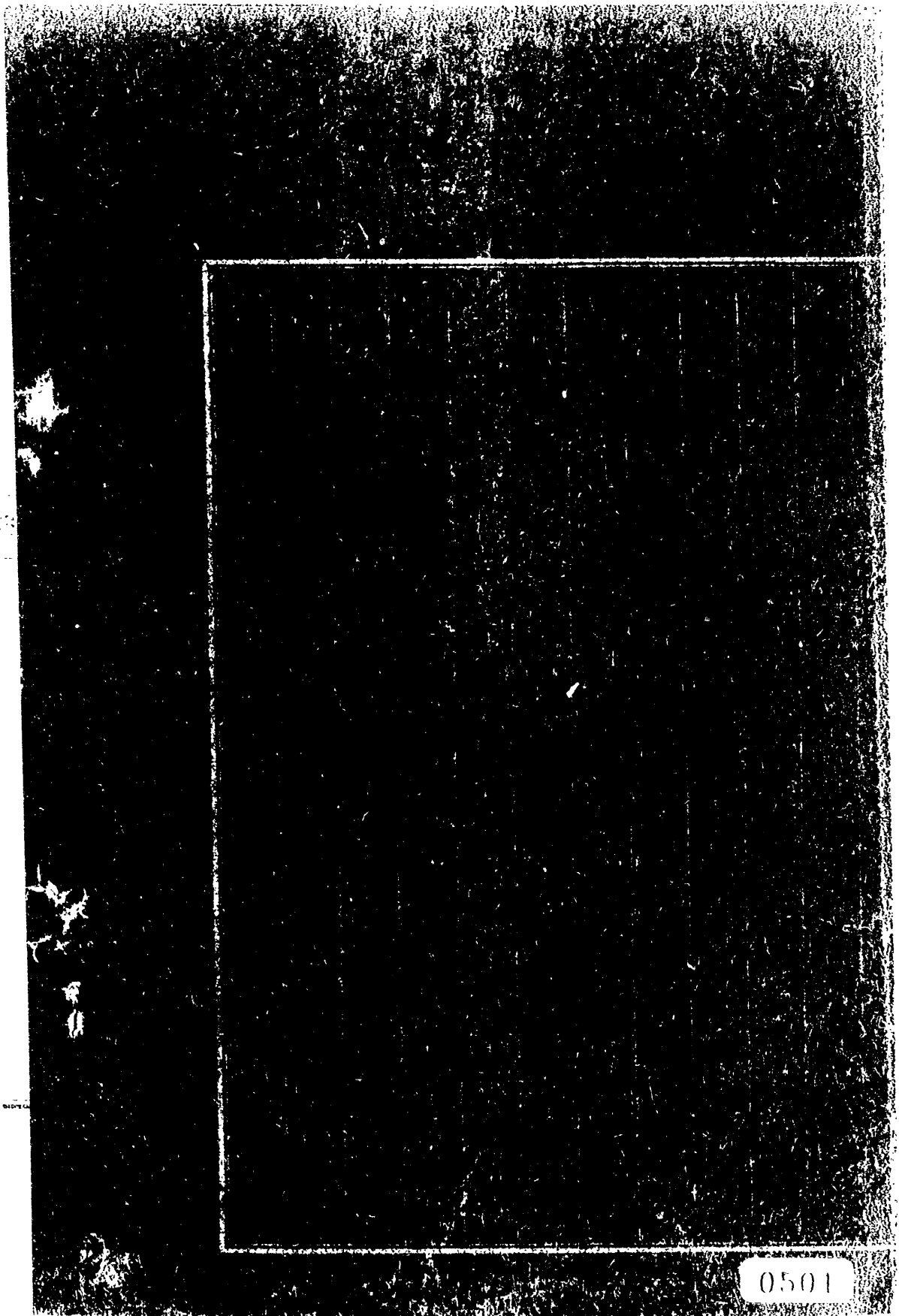
0499

二  
費概算  
二  
費  
九拾月  
三  
費  
百七拾月  
四  
費  
五拾月  
五  
費  
百拾月  
六  
費  
百拾月  
七  
費  
百拾月  
八  
費  
百拾月  
九  
費  
百拾月  
十  
費  
百拾月  
十一  
費  
百拾月  
十二  
費  
百拾月

乙

0500





0501

**アジア歴史資料センター**

**Japan Center for Asian Historical Records**

<http://www.jacar.go.jp/>